

越知町 橋梁の集約化・撤去に関する取り組み

令和7年3月

越知町 建設課

1. 橋梁の集約化・撤去の背景

1) 橋梁の老朽化の進展

橋梁は人の移動や物資の輸送に不可欠な基本的な社会資本です。これまで、人口の増加に伴う道路交通需要の増大に応じて多くの橋梁が建設されてきました。しかし、高度経済成長期に建設された橋梁を中心に老朽化が進展し、今後の維持管理・更新費の増加が懸念されています。

越知町においても、管理する橋梁 144 橋（令和 6 年度現在）のうち、建設後 50 年を経過する橋梁は、全体の 21%を占めており、20 年後の令和 26 年には 78%程度に増加する見通しとなっており、老朽化の進展が予測されます。

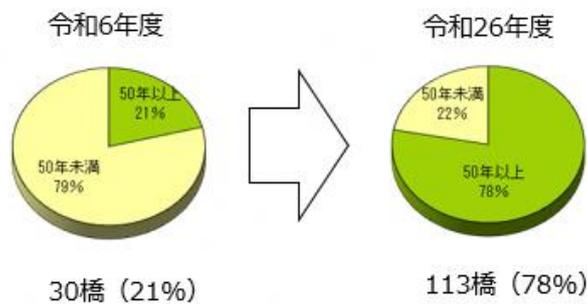


図 1：建設後 50 年以上経過した橋梁の割合の推移

2) 橋梁を取り巻く社会構造の変化

建設時からの時間経過とともに、土地利用の変化や周辺人口の減少等により、利用頻度が減少している橋梁が生じていると予想されます。

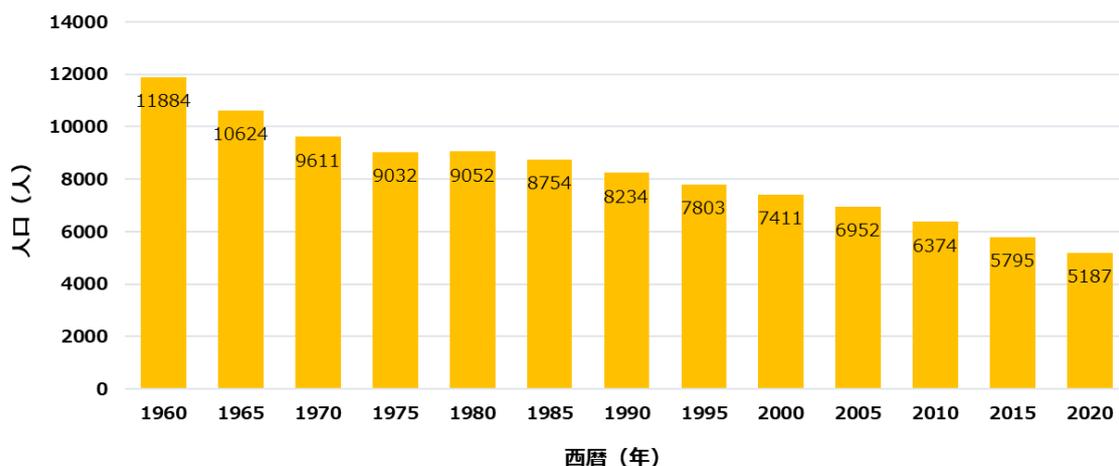


図 2：越知町の人口推移（国勢調査のデータより作成）

2. 集約化・撤去の検討

集約化・撤去の検討対象とする橋梁の条件は以下の通りとします。

- 1) 橋梁の老朽化や損傷等により補修費用が増大することが予測される橋梁
- 2) 利用者が少なくかつ迂回路が存在する橋梁

定期点検により該当する橋梁が確認された際は、地元住民及び関係機関と調整を行い、集約化・撤去について検討します。

3. 集約化・撤去の効果

1) 維持管理・更新費等の縮減

撤去費用として一時的な負担が生じるものの、中長期的な視点で見ると、管理橋梁数が削減され、橋梁の老朽化により増大することが見込まれる点検費、補修費等の維持管理費を縮減することができます。

老朽化が激しく現在通行止めを行っている下記 5 橋を、10 年以内に撤去することにより、今後 50 年間に係る維持管理コストを約 2,000 万円程度縮減することを目指します。

浅尾三号橋

浅尾四号橋

浅尾五号橋

浅尾六号橋

浅尾七号橋

No.	対策年	橋梁名	部材種別	工法	事業費（千円）
1	2027	浅尾三号橋	点検	定期点検	500
2	2032	浅尾三号橋	点検	定期点検	500
3	2037	浅尾三号橋	点検	定期点検	500
4	2042	浅尾三号橋	点検	定期点検	500
5	2047	浅尾三号橋	点検	定期点検	500
6	2052	浅尾三号橋	点検	定期点検	500
7	2057	浅尾三号橋	点検	定期点検	500
8	2062	浅尾三号橋	点検	定期点検	500
9	2067	浅尾三号橋	点検	定期点検	500
10	2072	浅尾三号橋	点検	定期点検	500

1 橋あたり約 400 万円のコスト縮減

2) 落橋による事故の危険性の排除

管理橋梁数を削減し、点検や補修の効率化を図ることが可能となります。

また、損傷等を放置することで落橋に至り、人的被害や桁下の構造物を破損する等の二次的な被害に波及するリスクを減少させることができます。